

令和8年度 三世代交流会実施報告

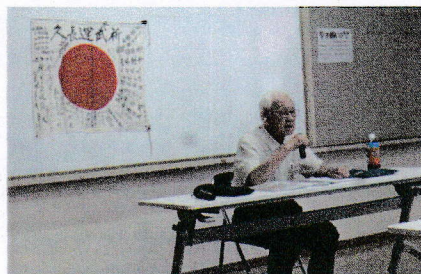
6月28日（日曜日）、北公民館の第1・2研修室および第2講座室をお借りし、東本町町内会の三世代交流会を開催しました。参加者は、子ども14名、保護者14名、高齢者12名の計40名。未就学児から98歳まで、幅広い年代の皆さまが一堂に会し、童心に帰って子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしました。

当日は、かるた・紙飛行機づくり・輪投げ・コップ相撲・折り紙など、昔ながらの遊びを通じて、世代を超えた交流が自然と生まれ、会場は笑顔であふれていました。



また、三世代交流会を室内で開催する際に毎回大好評なのが、長寿友の会の矢吹会長による東本町の昔の様子のお話です。

東本町の中心を通る道路は、江戸後期頃より「津山往来」と呼ばれ、岡山城当たりから半田山を越え、辛甲峠を越えて津山へ向かう重要な街道であったこと。さらに昭和の頃には、道の両脇に散髪屋、たばこ屋、八百屋、魚屋、石屋、へぎ製造所など、多くのお店が立ち並び、地域の暮らしを支えていたことなど、当時の貴重な様子を教えていただきました。



矢吹会長の後ろに掲示していた日章旗は、戦時中に出兵する兵隊さんの無事を願い、家族や関係者が寄せ書きをした大変貴重なものです。同時に、「千人針」の腹巻も、ご主人が出兵の際に身につけられた大切な品をお借りし、参加者の皆さんにご覧いただきました。当時の人々が家族の安全を祈り、思いを込めて送り出した歴史を目の前にし、皆さんが静かに見入り、深い関心を寄せていました。

子どもたちも保護者の皆さんも興味深く耳を傾け、地域の歴史に触れる良い機会となりました。そして、今回ご出席いただいた皆さまの絆がさらに深まり、東本町町内会がこれからも明るく温かい地域として発展していくことを願っております。

矢吹会長の「昔話・第二弾、第三弾」も楽しみにしています。